



調印式典ではタイラー市、八千代市の両市長らがアメリカ国歌を斉唱（1992年5月16日撮影）

■ 八千代市国際交流協会ニュース

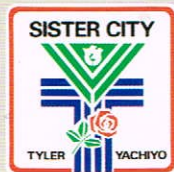
くりっぴー 《cliP》

第17号

■発行日/2021年12月15日 ■発行・編集/八千代市国際交流協会（事務局/〒276-0027八千代市村上団地2-9-103 八千代市多文化交流センター内 TEL・FAX 047-752-0593 メール：yia2006@world.zaq.jp）勤務日/火曜日・木曜日午前9時～午後3時 印刷/金子印刷企画



署名が終わり、握手をするスミス・P・レイノルズJrタイラー市長（左端）と仲村和平、八千代市長（右端）（1992年5月16日撮影）



令和4年5月、八千代市はタイラー市と 姉妹都市提携30周年を迎えます

来年の5月16日に八千代市は、タイラー市と姉妹都市提携30周年を迎えます。この日はタイラー市において調印式が行われた日です。今回は、提携までの経緯、交流のあゆみなどを振り返って見ましょう。

姉妹都市提携までの経緯について

八千代市は市制施行25周年を記念し、アメリカ合衆国テキサス州タイラー市と姉妹都市提携を結びました。調印式は、両市の話し合いにより1992年（平成4年）5月16日にタイラー市のローズ・ガーデンで、1992年8月23日に八千代市の市民会館で行われました。

タイラー市が姉妹都市になった理由は、八千代市は市制施行25年記念事業の一つとして、海外都市との姉妹都市提携を行うことを決め、1989年（平成元年）7月に設置された「八千代市国際交流推進懇談会」《会長／大木昌氏・八千代国際大学教授（当時）》に姉妹都市候補市の選定をお願いしました。1990年9月10日に八千代市はタイラー姉妹都市委員会が日本の都市と姉妹都市提携を希望する書簡を国際親善都市連盟を通じて受理しました。最終段階で残った市は、米国のテキサス州タイラー市とメリーランド州コロンビア市でした。候補市は複数とし、かつ優先順位をつけて市長に報告することになっていましたので、1990年11月14日に懇談会では、タイラー市とコロンビア市の2市を候補市として選定しました。1991年3月12日にタイラー市を第1位、コロンビア市を第2位とする形で報告されました。

市長は市民等の代表者たちが選んだ候補市の報告を受け、1991年3月12日に正式に優先順位第1位のタイラー市へ姉妹都市提携の申入れ書簡を送りました。このとき既に1991年1月16日から18日にテキサス大学タイラー校

学長のジョージ・F・ハムご夫妻がタイラー市長からの正式な姉妹都市提携の申入れ書簡を携えて本市を訪問していたことから、姉妹都市提携はスムーズな形で進んでいきました。

30年の姉妹都市交流のあゆみについて

姉妹都市交流が開始されて以来、タイラー市から八千代市への訪問回数と八千代市からタイラー市への訪問回数は、来年のタイラー市の訪問（予定）を入れて、それぞれ12回ずつとなります。

この間、いろいろな出来事がありました。両市の縁組の橋渡しをし、姉妹都市交流にも大きな貢献をしたテキサス大学タイラー校のジョージ・F・ハム学長（当時）へ八千代市長から1996年（平成8年）11月23日付けで感謝状と記念品が贈られました。これは姉妹都市交流前の1991年9月からハム学長のご好意により外国語指導助手（ALT）を八千代市へ毎年派遣していただいていたということで贈られたものです。また、カズエ・ジョンソン氏（当時日本担当理事）に対しては、両市の友好親善の架け橋として長年の貢献が認められ、八千代市から2004年（平成16年）11月23日付けで篤行者表彰されております。

タイラー市長のマーティン・ハインズ氏からは、2015年（平成27年）10月15日を「八千代市とタイラー市の姉妹都市の日」とする旨の声明書が読み上げられました。このほかタイラー市名誉市民としては、周郷紀男氏、豊田俊郎氏、長岡利香子氏の3名が上げられます。親善訪問をした八千代少年少女合唱団が1996年（平成8年）3月と2006年（平成18年）3月の2回公演をし、親善大使の役割を果たし帰国しています。遠くに感じていたアメ



さよならパーティーで記念写真を撮るレイノルズ市長（左から2番目）、ハム学長（右から2番目）、仲村市長ら（1992年5月18日撮影）



小学生のダンスを見学する親善訪問団。これを踊ってくれた少女たちはもう40歳を過ぎています（1992年5月16日撮影）

リカがこれらの訪問により、一段と近くなったに違いありません。また、姉妹都市提携20周年で10人の高校生がタイラー市を訪れ、グレースコミュニティ高校やホームステイで友好を深めました。さよならパーティーでは、高校生が英語で感謝とお礼を述べておりました。

令和4年8月、写真展を開催予定

令和4年度予定される姉妹都市提携30周年記念事業としては、「姉妹都市提携30周年記念写真展2022」が開催される予定です。日時は2022年(令和4年)8月3日(水)から8月11日(祝)までの8日間(8月8日は休館日)で、午前10時から午後6時までです。会場はオーエンス八千代市民ギャラリーです。

内容は、1992年5月の第1回～第12回親善訪問団派遣事業から1992年8月の第1回～第11回親善訪問団受入事業までの23事業A4カラー写真、900枚ほどの記録写真です。八千代市との共催になります。入場は無料です。

今号では、第1回親善訪問団派遣事業の写真を表紙から5ページまでに掲載してあります。30年ほど前の調印式等の写真です。写真にはあの方も、この方も、そして懐かしい方々など多くの方が登場してまいります。もう一度、あの当手を振り返って見ましょう。

なお、八千代市国際交流協会の設立は2006年(平成18年)1月1日で、1994年3月30日に設立された八千代国際姉妹都市委員会は、2005年1月20日から開催された八千代市国際交流団体連絡協議会専門委員会に加わり、国際交流協会設立に向け準備をしてきたものです。

またタイラー姉妹都市委員会から訃報が届いております。トニー・タダサ氏が新型コロナウイルス感染により9月にご逝去されました。タダサ氏はカズエ・ジョンソン氏がお亡くなりになってから、親善訪問団の派遣・受入の際の通訳を務めており、その功績は非常に大きいものでした。ご冥福をお祈りいたします。(国際姉妹都市部会：三橋伸一郎)

提携30周年を迎えて

八千代市国際交流協会

名誉会長 周 郷 紀 男



今は亡き仲村和乎市長とスミス・レイノルズJrタイラー市長が姉妹都市協定書に調印してから30年が過ぎようとしております。ご努力いただきました多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げる次第でございます。この間、7回親善訪問団の団長として参加しましたが、すべての訪問された人たちがタイラー市民の温かい歓迎とおもてなしに深く感謝しているとの多数の感想を寄せており、大変有意義な訪問であったと思っております。また、八千代市にお出でいただいた折は、市や市民をあげてのおもてなしには関係者皆様様に厚く御礼申し上げます。姉妹都市交流は目には見えない素晴らしい人間関係を築くものであり、このことが世界平和に貢献されればと考えております。今後とも皆様方の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、皆様様の今後の国際交流のご活躍に大きな期待を申し上げ、ごあいづついたします。

会長 小林 公 孝



早いもので、交流を開始してから来年には30周年を迎えることになりました。この間、私自身親善訪問団の一員として5回タイラー市を訪問し、友好・親善の目的を十分に果たしたと思っております。姉妹都市提携がスタートしてから、タイラー市からの親善訪問団を11回受け入れ、短い滞在でしたが、温かいおもてなしをコンセプトに色々な催しを企画し、多くの八千代市民の参加を得て思い出に残る交流事業を行うことが出来ました。姉妹都市提携の意義は、市民の相互派遣、文化、教育等の多面的な交流を促進し、国際化時代に向けて交流活動を提供することにあると思っております。また、小さな市民外交であると思っております。新型コロナウイルス問題が終息することを前提に、翌秋にはタイラー市からの親善訪問団受け入れを予定しております。なお、長い間タイラー市と八千代市の交流活動に尽力されたトニー・タダサ氏が新型コロナウイルス感染により急逝されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



タイラー市民と八千代市民がタイラー湖畔で初の記念撮影(1992年5月16日撮影)

■ ■ 当時，30年前の様子を 振り返って見ましょう

これらの写真は，市主催による第1回目となった親善訪問団派遣事業です。期間は1992年(平成4年)5月15日～19日までです。ご参加いただいた方々は，八千代市農業協同組合長，八千代商工会議所会頭ら17名及び市長含めた職員8名が参加しております。なお，これらの写真は1992年5月15日から19日までの間に撮影したもので，その一部を使用しております。では30年前の様子，ご覧ください。



市役所前で記念撮影をする市民団体訪問団 (16日)



署名が終わり，レイノルズ市長へ絵画を贈る仲村市長 (16日)



市役所前で記念撮影をする海外行政視察団一行 (16日)



会長のアイナ・デビッドソン氏へ記念品を贈る仲村市長 (16日)



表敬訪問であいさつをする仲村市長 (16日)



プレゼント交換をするレイノルズ市長と仲村市長 (16日)



東テキサス医療センターで施設見学をする親善訪問団 (16日)



調印式に参加した八千代市の親善訪問団 (16日)



背高ノツボさんと記念撮影をする仲村市長ら (16日)



表敬訪問であいさつをする八千代市議会議員海外行政視察団団長の宮崎宏氏ら (16日)



ハーベイ・コンベンション・ホールでハム学長から紹介を受ける仲村市長 (16日)



姉妹都市協定書に署名するレイノルズ市長と仲村市長 (16日)



タイラー湖畔で記念撮影をする宮崎・海外行政視察団団長ら (16日)



歓迎昼食会ではバーバラ・シュトフマン夫人と一緒に記念撮影 (16日)



ハム学長を交え橋爪忠氏らと記念撮影 (16日)



カズエ・ジョンソン氏らと仲村市長で記念撮影 (16日)



ブライアン・タートルご夫妻と記念撮影をする仲村市長〈16日〉



ダイラー市の方も交え市民団体訪問団で記念撮影〈16日〉



アイゼンハワー国際ゴルフクラシックに参加した仲村市長に終了後地元テレビ局がインタビュー〈17日〉



赤のスカーフを結んでもらう仲村市長〈16日〉



青のスカーフを結んでもらう宮崎海外行政視察団団長〈16日〉



全米姉妹都市青少年絵画展を見学し、ジエニー・ハムご夫人(右端)らと記念撮影をする仲村市長〈16日〉



地元ライオンズクラブのご厚意により熱気球を楽しむ仲村市長ら〈16日〉



パット・ジョーンズさんご夫妻と記念撮影をする仲村市長ら〈16日〉



とても美味しかったランチ。ジョンソン氏(左端)と一緒に〈16日〉



さよならパーティー前にノーマン・シュトフマンご夫妻を囲んで記念撮影をする仲村市長ら〈18日〉



さよならパーティー前にアン・プリマー元会長と記念撮影をする星直子氏と山崎保昭氏ら〈18日〉



ネイティブ・アメリカン登場に興味しんしんの大木昌氏、小村昌三氏、土屋吉弘氏ら〈16日〉



さよならパーティーで記念写真を撮る石山理操氏、山崎氏ら〈18日〉



奥山智氏、春山正勝氏、デビットソン氏で記念撮影〈16日〉



式典当日は八千代市から持参した写真パネル「日本八千代市の横顔」も活躍〈16日〉



さよならパーティーで記念写真を撮る山崎寿徳氏、伊原隆雄氏ら〈18日〉



カズエ・ジョンソン氏を交え記念撮影〈16日〉



式典が終わった後には高校のプラスバンドの皆さんも参加〈16日〉

夏休みこども日本語教室2021を開催

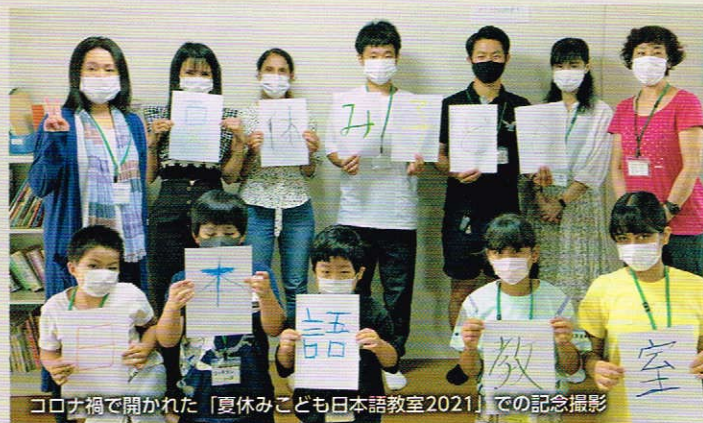
昨年は、新型コロナウイルス禍で中止となりましたが、今年度は多文化交流センターでコロナ感染予防対策を万全にし、参加人数も例年の半分以下での開催となりました。

第14回夏休みこども日本語教室は、令和3年7月31日(土)に開催いたしました。市内の小・中学生5人と保護者2人、そしてボランティア5人の計12人で活動。

今回のテーマは、「自分の国の紹介動画を作成、ホームページ掲載に挑戦!!」で、参加した生徒たちに活動内容を理解してもらうために、デモ動画を用意し、加えて日本編を見てもらいました。参加者はベトナム人2人、中国人1人、ネパール人2人で、3か国で担当ボランティアと一緒に作業していきました。自分が選んだ場所や食べ物を決め、絵を書き、パソコンで写真を選び画用紙に貼っていきます。日本語の説明文を考えて練習をし、短い時間の中で動画撮影を完了しました。動画編集後、担当課の確認の上、ホームページ掲載となりました。

萱田中学校ボランティア部にデモ動画の協力をしていただき、また八千代松陰高校3年生の1人、日本語ボランティア部会の2人、AMIGOこども日本語教室の2

人で無事終わることができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。(日本語ボランティア部会：長谷川安記子)



コロナ禍で開かれた「夏休みこども日本語教室2021」での記念撮影



最初はデモ動画を見てもらいました

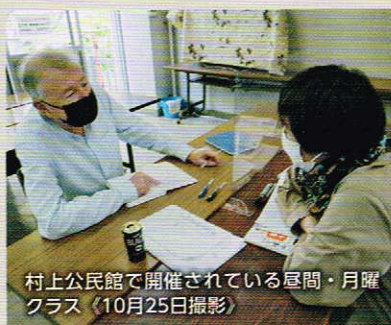


パソコンは写真選びに使います

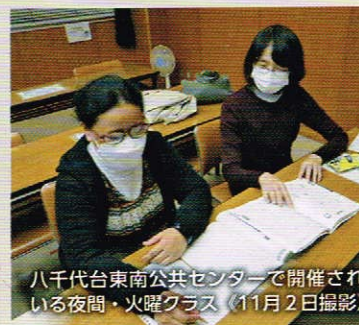
頑張れ!! 日本語教室の皆さん

約2年になる新型コロナウイルス禍でも、活動を続けている日本語ボランティア部会。今年度もまた「緊急事態宣言」が7月19日から9月30日まで発令されたため、八千代台東南公共センターや公民館の夜間利用が中止されました。10月25日から利用者枠が以前の数字に戻ったことから、今後は受講生の数も元にもどりそうです。

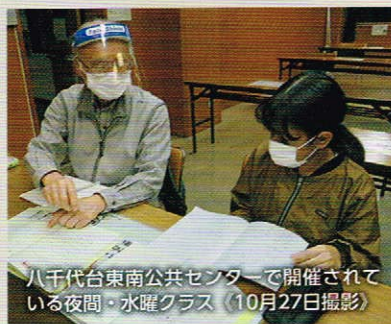
県でも急激に感染者数が減ってきており、第6波を心配しなくてはいけませんが、大事なことは、普段からマスク着用をし、手洗い、うがいなどをしていただ方が良いということです。ワクチン接種率もどんどん上がってきており、日本の2回目ワクチン接種者が75% (11月15日現在) を超えています。年内には飲み薬が出るという情報もあります。あと一歩です。頑張れ!! 日本語教室の皆さん。(事務局：三橋伸一郎)



村上公民館で開催されている昼間・月曜クラス (10月25日撮影)



八千代台東南公共センターで開催されている夜間・火曜クラス (11月2日撮影)



八千代台東南公共センターで開催されている夜間・水曜クラス (10月27日撮影)



勝田台公民館で開催されている夜間・曜クラス (10月28日撮影)



八千代台東南公共センターで開催されている夜間・金曜クラス (10月29日撮影)



村上公民館で開催されている昼間・土曜クラス (10月30日撮影)



緑が丘公民館で開催されている夜間・木曜クラス (11月4日撮影)

※このほか村上公民館で開催されている夜間・火曜クラスでのリモート授業、八千代台東南公共センターで開催されている昼間・土曜クラスがあります

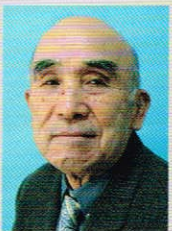
令和3年度八千代市篤行者表彰について

八千代市の篤行者表彰として2021年（令和3年）11月23日（火・祝）に小川剛毅氏、関戸信雄氏の2名が表彰されました。おめでとうございます。

小川剛毅（おがわ・よしただけ）氏は、2005年（平成17年）12月八千代国際姉妹都市委員会に入会しました。2007年6月、タイラー市からの親善訪問団来日の際、通訳を担当。2010年7月、タイラー市からの親善訪問団来日の際、受入実行委員となり、訪問、来訪時の企画、検討、準備に従事。2012年10月には、初めてタイラー市を訪れ、公式行事の通訳を担当しました。また、2013年（平成25年）3月には、チア・リーダーチームの訪問の際、実行委員として活躍。2014年7月には、タイラー市からの親善訪問団来日の際、受入実行委員として従事。2015年10月、2回目となるタイラー市を訪問。公式行事の通訳として従事しました。2016年4月、当協会の理事に就任。2017年10月、タイラー市からの親善訪問団の受入実行委員会副会長に就任。25周年記念式典総合司会を担当し、姉妹都市提携25周年記念誌「バラでつなぐ25年」の英文編集委員責任者を担当。現在、理事として活躍しているほか、タイラー姉妹都市委員会とのコミュニケーション・折衝を担当しています。（国際姉妹都市部会）



関戸信雄（せきど・のぶお）氏は、2004年（平成16年）5月八千代国際姉妹都市委員会に入会しました。同月タイラー市親善訪問団受入準備委員として県内の訪問先などを事前現地調査に従事。2006年8月、毎年開催されている「夏休み子ども日本語教室」で、カルタ取りなど日本文化の習慣等の学習指導活動に従事。2007年1月、日本語ボランティア部会会員として村上月曜教室で外国人に日本語を指導しました。2008年4月、「AMIGO子ども日本語教室」で小・中学校児童生徒を対象に、毎週土曜日午前10時から日本語の話し方、読み方、書き方などを学習指導し現在に至っております。また毎年9月ごろに行われる当協会主催の「八千代インターナショナルデイ」では、会場の設営等に第2回から第6回まで参加しました。2008年（平成20年）10月に行われたタイラー市への親善訪問団派遣事業に初めて参加し、タイラー市民との国際交流に努めました。（日本語ボランティア部会）



2021年度（令和3年度）収支予算は次のとおり。中止事業の補助金は市に返還

【収入】1. 会費—469,000円 2. 補助金—1,087,200円 3. 繰越金—76,393円 4. 雑収入—91,407円 合計—1,724,000円
【支出】1. インターナショナルデイ事業—285,000円 2. 国際ハロウィンパーティー事業—64,000円 3. 広報事業—223,000円 4. 部会事業費—①国際姉妹都市部会/55,000円 ②語学ボランティア部会/60,000円 ③日本語ボランティア部会/220,000円 ④国際交流促進部会/10,000円 ⑤各部推進業務/344,000円 5. 事務費—①賃金/160,000円 ②需要費/55,000円 ③役務費/145,000円 ④使用料及び賃借料/12,000円 ⑤備品購入費/80,000円 ⑥負担金/11,000円 合計—1,724,000円

2021年度（令和3年度）の役員・会員は次のとおり

◆名誉会長／八千代市長・服部友則、前八千代市国際交流協会会長・周郷紀男 ◆相談役／八千代市議会議員・山口勇 ◆会長／小林公孝 ◆副会長／江川典一・喜田茂・鈴木康彦 ◆会計／藤江潔・嶋野勝美 ◆理事／小川剛毅・長尾みち子・廣田敬治・鎌田久美子・入江幸世・河合晴子・花島美記 ◆監事／川島慎一・中嶋功 ◆個人会員／135人（2021.11.1現在） ◆家族会員／13家族 ◆団体会員13団体（明るい社会づくり八千代市推進委員会・八千代市医師会・八千代市管工事共同組合・八千代市商工会議所・八千代青年会議所・八千代市農業協同組合・八千代東ライオンズクラブ・八千代市薬剤師会・八千代交通安全協会・八千代ライオンズクラブ・八千代ロータリークラブ・八千代バンコク交流の会・八千代少年少女合唱団 ◆賛助会員／習志野外国語学院（順不同・敬称略）《事務局》

中止事業は次のとおり

今年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者の安全確保のため、10月7日（木）に開催されました第3回理事会により、下記の事業を中止とさせていただきます。

- (1) 第15回八千代インターナショナルデイ
- (2) 第8回国際ハロウィンパーティー
- (3) 第15回八千代市日本語スピーチ大会
- (4) 第13回英語で聴く講演会
- (5) 市民活動団体フェスティバル2021

新型コロナウイルス感染者数は、11月15日現在、3,764人を数えています。多い少ないは別にしてとにかく第6波が来ないことを祈るだけです。日本のワクチン接種率も2回目75%を超えています。来年度は是非とも総会を開催していただき、会員の皆さんの元気なお顔を見ることができれば幸いです。（事務局：三橋伸一郎）

編集後記

総会が令和2年度、3年度と二度流れてしまいました。当協会の決算、予算、事業計画、事業報告、役員人事等につきましては理事会のご承認をいただき、メール又は郵送でご送付申し上げたところでございます。八千代市の新型



JA 八千代市

八千代市
大和田新田 640-1
TEL 047-450-3711(代)



JA八千代市は
地域と農家をつなぐ
架け橋でありたい

Wishon where a dream meets
夢かなうウイシュトン

ご宿泊・ご宴会・ご婚礼・お食事



〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘4-8-1
TEL.043-489-6111 FAX.043-489-8156
<http://www.wishon.co.jp/>

結婚式のできるチャペル・8つの宴会場・中華・フレンチレストランを備え、ビジネス・研修・ご家族の大切に華やかなひとときをご提供いたします。

綺麗な印刷

●総合印刷 ●プリントマネジメント

金子印刷企画

KANEKO

八千代市萱田 410-1 047-450-9163



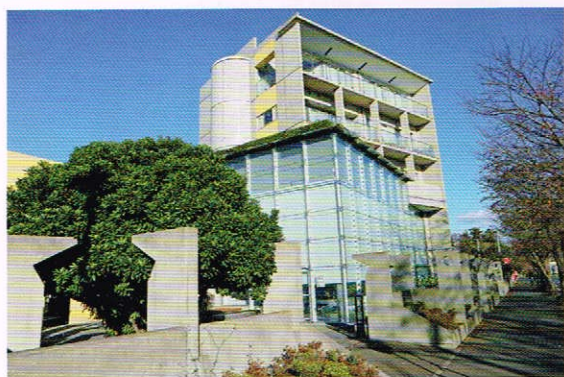
ライオンズクラブ国際協会
333-C地区5R・2Z
八千代ライオンズクラブ

ライオンズクラブは、地域社会の生活、文化、福祉向上等の奉仕活動を展開し、世界の平和を願う世界最大の奉仕団体です。

●事務局：八千代市八千代台東1-1-10 ユアエルム4F

TEL 047-482-0525 FAX 047-486-0113

●例会日：第2・4火曜日 PM7:00~



地域の発展と共に歩む

創業昭和2年 建設・設計・施工

と 周郷建設株式会社

会長・周郷紀男 代表取締役社長・周郷寿雄

八千代市大和田新田406/電話 047-450-3024(代)/ファックス 047-450-0576

株式会社
Yes! 川島不動産

なんでもご相談下さい

代表取締役

川島 慎一

Shinichi Kawashima

宅地建物取引士
不動産コンサルティング技能登録者
shinichi@kawashima-re.co.jp



株式会社 川島不動産

社団法人千葉県宅地建物取引業協会会員
千葉県知事免許(13)第3137号
東京海上日動火災保険代理店

〒276-0023

千葉県八千代市勝田台
2丁目1番地2 川島ビル1F

TEL:047-483-2652(代)

FAX:047-483-2168

<http://www.kawashima-re.co.jp/>